

復興支える市民のチカラ

東日本大震災
発生から8カ月

農山漁村の生活の知恵 交流深めて互いに披露

9月29日、岩手山焼走り国際交流村焼走りホールで、宮古・岩泉地方と本市の生活研究グループ連絡協議会が交流研修会を行いました。この交流研修会は、本市と宮古市との交流の絆が、震災に伴う支援などを通じて一層深まったことを機に初めて開催されたもので、両会員のほか、宮古、八幡平両地方の農業改良普及センター職員など約50人が参加しました。

ど、農山漁村の良さを生かした生活の知恵を互いに披露。昼食ではヤマブドウ原液で乾杯したほか、会員が持ち寄った手作りの牛乳プリンやカボチャの蒸しパンなどのレシビを学びながら試食を行いました。

本市協議会の三浦美恵子会長（大石平）は、「震災で、皆さんは今でも大変な思いをしていると思います。短い時間ですが、皆さんと心をつなげて、楽しい時間を過ごしていきたいと思えます」と話しました。



ウニに見立てたタワシをすくう競技に挑戦する女性参加者たち

ことしも田老地区運動会に参加 合併前から綿々と続く 姉妹都市の絆を再確認

10月10日、グリーンピア三陸みやこ多目的アリーナ（宮古市田老）で、第65回田老地区体育大会が開催されました。

この大会は、住民有志の手作りで毎年開催されているもので、震災による大きな被害を受けた今回のテーマは「起ち上がろう。ふるさと田老復興大運動会」。

地元住民など約1000人が参加し、紅白に分かれて各種目に挑戦しました。

住民を中心に市民有志が毎年参加しています。ことしも田村正彦市長をはじめとする有志約30人が参加し、地元住民と友好の絆を深めながら競技に参加しました。

玉入れやパン食い競争などおなじみの種目のほか、男性が4人のかぎ付きさおでアワビの貝殻を釣り上げる種目や、女性が網でウニに見立てたタワシをすくう種目など、沿岸ならではの名物種目もあり、参加者たちは悪戦苦闘。会場には、笑い声や歓声が響きました。



ヤマブドウジュースで乾杯する参加者たち

義援金・支援金

ありがとうございます
(10月20日まで受け付けした順)

【義援金】

◆市役所窓口扱い
▽3210円 大和リゾート
㈱八幡平ロイヤルホテル支配人▽5万4605円 ㈱大宝グループ

【支援金】

◆銀行振り込み(表記は通帳記帳通り)
▽3000円 アサザワナツ
マツリジッコウインカイ
◆市役所窓口扱い
▽18万5144円 八幡平市芸術文化協会会長佐々木一夫
【寄付金】東日本大震災に係る被災者支援として
▽100万円 ㈱八幡平精工代表取締役遠藤正規



市芸術文化協会が、10月2日開催の市芸術祭舞台発表入場料から開催経費を引いた残額や、当日寄せられた募金など18万5144円を市に支援金として寄付(10月20日)

災害復興に踏み出す第一歩へ 男女共同参画フォーラム開催

男性と女性が対等な立場で社会活動を行うことができる「男女共同参画社会」の実現が求められています。

性別に関係なく、意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会を目指し、八幡平市男女共同参画フォーラムを開催します。

今回のフォーラムでは、東日本大震災からの復興に向け、活動を続ける皆さんを招き、基調講演やパネルディスカッションを開催します。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

■日時 11月13日(日)、午後1時から4時まで

■場所 安代若者センター(安代総合支所隣)

■基調講演

▼演題 災害復興にふみ出す私たちの第一歩―男女共同参画の観点から

▼講師 工藤ヒロさん(田野畑村教育委員会事務局主幹)

■パネルディスカッション

▼テーマ 災害・私たちが守る八幡平市―やったこと・やりたいこと・そしてできるこ

とく

▼コーディネーター 吉野英岐さん(県立大学総合政策学部教授)

▼パネリスト 川又登志子さん(市社会福祉協議会事務局次長)、津志田レ子さん(市婦人消防協力隊長)、齋藤文明さん(蕎麦と漆器の里安代手打ちそば支援の会代表)ほか

詳しくは、市教育委員会事務局生涯学習課(☎74-2111、内線2323)まで。



昨年度の男女共同参画フォーラム

森佐一さん・遠藤友子さん 人権擁護委員に委嘱される

森佐一さん(五百森)と遠藤友子さん(寺田)が、10月1日付で法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

お二人は、9月30日付で退任された井上公子さん(大石平)、遠藤弘見さん(帷子)の後任として委嘱されたもので、任期は26年

9月30日までの3年間です。なお、退任されたお二人は、人権擁護委員として4期12年間務められました。

人権擁護委員は、皆さんの悩み事や心配事などの相談に応じます。相談は無料で、秘密は守られます。お気軽に相談ください。

相談日など詳しくは、市



遠藤友子さん 森佐一さん

「ぎょうじやんにく」と 「うるい」新品種の名称募集

これまで、八幡平山菜栽培研究会会員が選抜してきた「ぎょうじやんにく」と「うるい」について、生育調査や特性調査の結果、従来の品種とは明らかに異なり、八幡平市の特産として期待されることから、農林水産省に品種登録を行うことになりました。

そこで、これらの名称を募集しますので、ふるって

ご応募願います。

■応募資格 八幡平市民

■応募方法 ①候補名(各3点まで。漢字の場合ふりがなも)、②命名の理由など(命名理由がない場合は無効)、③連絡先(郵便番号、住所、氏名)を記載し、はがき(〒028-719

2、八幡平市田頭39-72-2、八幡平市産業部農政課内 山菜栽培研究会事務

局)またはファクス(76-3838)で応募願います。

■応募期限 11月30日(水)当日消印有効

■品種の特徴

▼ぎょうじやんにく ①太く柔らかい。②萌芽期の本葉のそろいがいい。葉鞘部の裂けが少なく締まりがいい。③白い茎がおいしい。

▼うるい ①柔らかい。ほかのうるいより硬くなりやすい。②白い茎部分が長い。③ほとんど実がならない。

詳しくは、市役所農政課農政係(☎・内線1600)まで。